

報道関係各位

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

小学生から高校生にバトンをパスして映画を制作！ 地域への想いを物語にした作品がついに上映決定！

日時：2020年1月26日（日）13:00～16:30「第26回コミュニティプラザ」にて
会場：文京シビックホール 小ホール

特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール（東京都港区）は、子どもの育ちも学びも地域社会で応援する放課後を日本中につくるところを目指し活動しています。

「物語で想いを伝えるプロジェクト」は、文京区の小学生が地域の課題や可能性に触れ、未来の地域に対する想いを形にするために高校生にバトンパス。6名の高校生が10代ならではの視点で地域の物語を社会に届けることを目的にショートフィルムを制作しました。予測不可能な時代を迎える今、大切な10代に何を学ぶべきかが問われる昨今。大切な誰かのためにクリエイティブの力を使って課題解決ができる、自分が踏み出した一歩で明日を楽しくできると信じられる世の中を願って本プロジェクトを進めてきました。子どもたちの想いが詰まった作品を是非目撃してください。

開催概要 ※文京区青少年委員会様が主催する催し内にて上映・発表時間をいただいています。

「第26回コミュニティプラザ」

日時：2020年1月26日（日）13:00～16:30 ★14:40より本作「えがおいろのあかり」を上映・発表予定

会場：文京シビックホール 小ホール（東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター2F）

主催：文京区青少年委員会 共催：文京区

【あらすじ】

ある日、家族と喧嘩をして家を飛び出した高校生のあかり。すると住み慣れた文京区の街から色が消えていることに気づく。戸惑うあかりは、街の人たちとの出会いの中であることに気づいていく……。

■作品完成までの歩み（小学生編全3回、高校生編全7回／講師：株式会社イグジットフィルム 田村祥宏氏）



小学生編Day1

地域で暮らす大人の皆さんに現在の街のことやご自身のお話を聴き地域の課題や可能性に触れる。



小学生編Day2

近隣大学の先生をお招きし、地域のお話を聴く。また将来どんな自分でありたいかをストーリーテリングの手法で導く



小学生編Day3

これまでに得た「街の課題」「大切にしたい場所」「地域に暮らす人」を題材に物語のシーンをつくる



高校生編Day1

小学生が集めた材料を使ってシーンづくりに挑戦。さらにシナリオとして成立させていく



高校生編Day2

映像にしたいシーンを決め、脚本化に向けてブラッシュアップ。ストーリーの鍵になるのは「出会い」



高校生編Day3

本物の脚本づくりを習い、それぞれの作品をしっかりと脚本化していく作業に。撮影の実現制も考え取り組む



高校生編Day4

撮影に向け、脚本を完成させて構図について学ぶ



撮影

iPadを使用し、1日かけて文京区内で撮影



高校生編Day5

ブラックマジックデザイン(株)社員様による本格的な編集トレーニング



高校生編Day6&7

観る人により伝わる編集を話し合いながら進め、作品を完成させる

■プロジェクト参加者の声

小学6年男子「自由にお話を作っていいのが面白かった！」

小学4年女子「地域の話をしてくれた人にまた会って話したい！」

地域にお住まいの方「地域の子どもの関わる重要さを再確認した」

高校1年男子「初めての経験だったけど、撮影や編集は好きだし、形になって人に伝わるのは嬉しい！」

高校の先生「生徒が地域に関われる機会がなかなかなく勿体ないと感じるので、こうした機会があるのは有難い」

■失われるものが多い時代に守りたいものは、人と人との出会いやつながりの中できっと見つかる。

度重なる自然災害や価値観の変化。日本のどこにいてもこれまで大事にしていたものが失われていく時代を私たちは生きています。テクノロジーの発達によりコミュニケーション手段は増えてきましたが、SNSで裏アカウントを作り、自分らしくいられる場所を求め続け、また自己表現手段に模索している若い世代をどうしたら応援できるのか。彼らが抱える孤独や不安を豊かなコミュニティが和らげられたら…。大人になるまでの成長軸を見守り、本当の意味で「地域で子どもを育てる」ために、もう一度放課後という時間のあり方を問い直してみたいと思ったのがプロジェクトの始まりです。地域みんなで子どもを応援し、大人自身も生き生きと働き楽しむ姿を子どもたちに見せることができれば、本当の「好き」が見つかり、オリジナルの将来図を描きながら「こうありたい」と願う未来や自分自身が見えてくると信じています。

■担当者の声～大切なのは一人ひとりのイマジネーション。新しい学びはみんなで一緒に作りたい～

時代の変化と共に教育のあり方が問い直され、今年2020年は日本でも大きな変革がやってきます。子どもたちが楽しく生きていくために放課後ができることは何でしょうか。本来、放課後の時間は子どもたちにとって友達と思いきり遊び、いろんな事にチャレンジしながら好きなことや得意なことを見つけられる時間です。世の中が変わり、社会で求められるものが変わっても、子どもたちがそれぞれ大事にしたいことや大切な人・ものを見つけていくことを応援し続けたい。そのために地域で子どもを応援する放課後が日本中に必要だと思っています。友達や多様な人との出会いの中に新たな好きや関心との出会いもあり、それはきっと子どもたちの世界を広げてくれるはずですよ。

小学生編は地域の大人たちの声を子どもたちなりに受け止め、根底にある願いを探すと共に自分自身と向き合ったことでこれまでとは違った自分、そして街の姿が見えた瞬間も多く見られました。高校生編では現代の高校生の放課後の忙しさに直面しながらも、小学生の想いを形にしたいと声をあげてくれた高校生たちと、課題もみんなで分かち合いこのプロジェクトを一緒に進めてきました。ご協力くださった地域の方々、都立向丘高校様、企業様等、本当に多くの方に応援いただき完成を目指すことができた本作品を多くの方にご覧いただけますと幸いです。(放課後NPOアフタースクール/すすきかおり)

■ご取材を希望くださる方は事前にお申し込みをお願いいたします。

▼お申し込みフォーム (URL または右の QR コードからフォームにお進みいただけます)

<http://bit.ly/2OJUvqh>



▼メールでのお申し込み

press@npoafterschool.org (放課後NPOアフタースクール/鈴木) 宛てに以下の情報をご連絡ください。

- ・お名前
- ・ご所属 (貴社名/部署名)
- ・媒体名
- ・撮影希望有無 (スチール/ENG/撮影なし)
- ・メールアドレス
- ・電話番号


ご不明点・ご要望等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。(年間のべ20万人以上の子どもが活動に参加)

アフタースクール開校数：20校/連携企業200社以上/市民先生5,000人以上

放課後はゴールデンタイム  放課後NPOアフタースクール

本件に関するお問合せ・お申込先

特定非営利活動法人
放課後NPOアフタースクール
本部事務局/広報(鈴木)

TEL:03-6721-5043

MAIL:press@npoafterschool.org